

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<27週> 流行性耳下腺炎 - 最近10年間の同時期と比較して最大の定点当たり報告数が続いている / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

<麻疹> 第27週の報告患者総数は913で、定点当たり報告数は0.30

<腸管出血性大腸菌感染症>



病原体情報
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - Vero毒素産生性大腸菌 / 咽頭結膜熱 / ヘルパンギーナ / 流行性角結膜炎 / インフルエンザウイルス



速報
P.6

沖縄県における麻疹の流行と「麻疹(はしか)流行阻止緊急アピール」 - 沖縄県



海外感染症情報
P.7

スペインでレジオネラ症の流行



感染症の話
P.8-10

手足口病

口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症で、幼児を中心に夏季に流行が見られる



読者のコーナー
P.11

インフルエンザワクチンについて



グラフ総覧(27週)
P.12-18



27週のデータ
P.19-26



発生動向総覧

第27週コメント 7月13日集計分

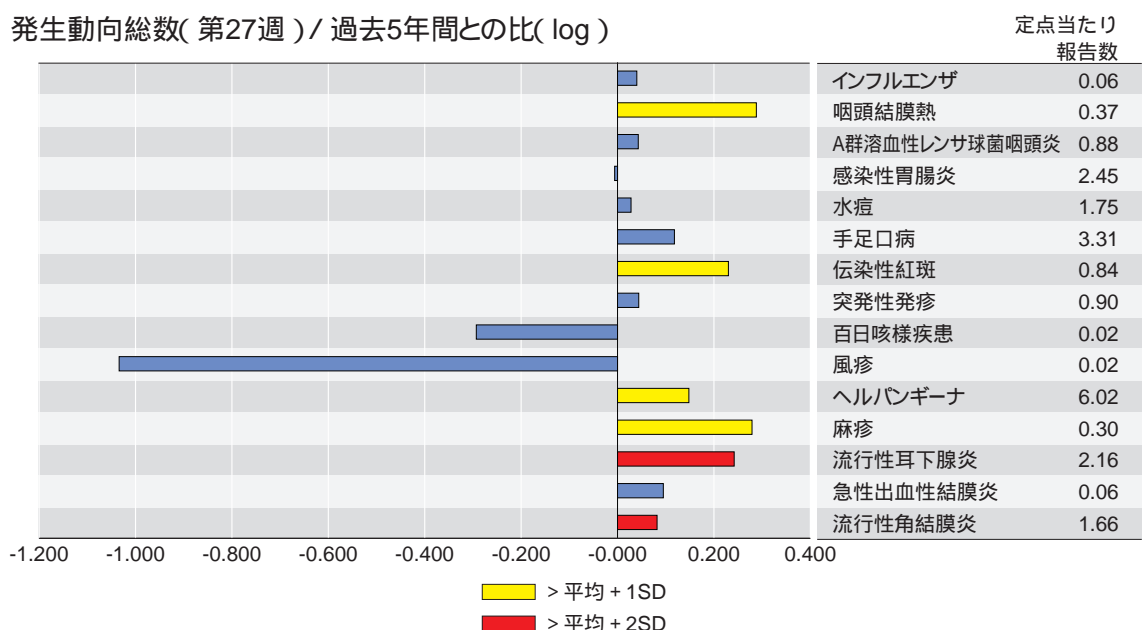
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ3例(推定感染地: 国内2例、インドネシア1例)、細菌性赤痢8例(推定感染地: 国内2例、マカオ・香港、朝鮮民主主義人民共和国、台湾、タイ、カンボジア、インド各1例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症115例
- 4類感染症: アメーバ赤痢3例、ジアルジア症1例、ツツガムシ病2例、日本紅斑熱1例(鹿児島県)、破傷風1例、ライム病1例(北海道)、レジオネラ症1例
 急性ウイルス性肝炎12例 A型6例
 B型4例_感染経路: 性行為1例、不明2例、その他1例
 C型1例
 その他1例(EBウイルス)
 クロイツフェルト・ヤコブ病2例(とともに孤発性)
 後天性免疫不全症候群7例(AIDS 4例、無症候性キャリア3例)
 感染経路: 性行為6例 異性間3例、同性間3例)
 不明1例
 デング熱1例(推定感染地: 仏領ポリネシア・タヒチ島)
 梅毒4例(早期顕症2例、無症候2例)
 マラリア1例(熱帯熱_推定感染地: ケニア)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

流行性耳下腺炎は、最近10年間の同時期と比較して最大の定点当たり報告数が続いており、都道府県別では石川県6.2、福井県4.8、佐賀県4.3などの報告がある。流行性角結膜炎の定点当たり報告数は、最近5年間の同時期と比較してかなり多くなっており、都道府県別では福井県6.0、茨城県4.3、長崎県3.9などの報告がある。咽頭結膜熱は、最近10年間の同時期と比較して最大の定点当たり報告数が2000年第41週から続いており、夏の本格的なシーズンに向けて増加中である。麻疹(詳細は4ページ「注目すべき感染症」参照)、ヘルパンギーナ、伝染性紅斑などの定点当たり報告数は、最近5年間の同時期と比較してやや多くなっている。

発生動向総数(第27週) / 過去5年間との比(log)

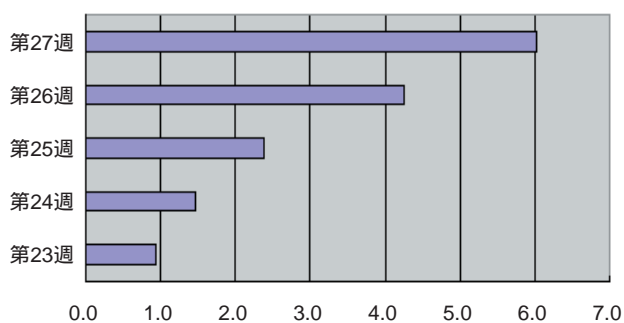


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均) の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

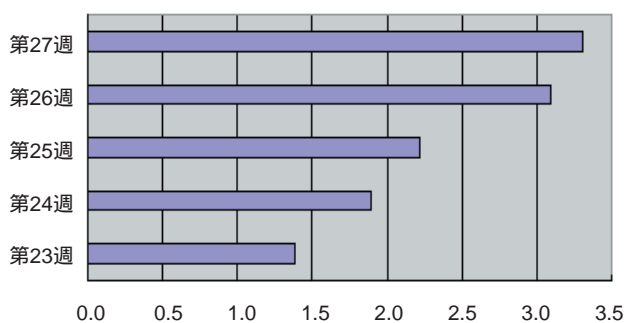
最近の注目疾患－5週間の動き

ヘルパンギーナ、手足口病の定点当たり報告数は、9週続けて前週より増加を示した。咽頭結膜熱、流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、前週より増加した。無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は、前週より減少した。

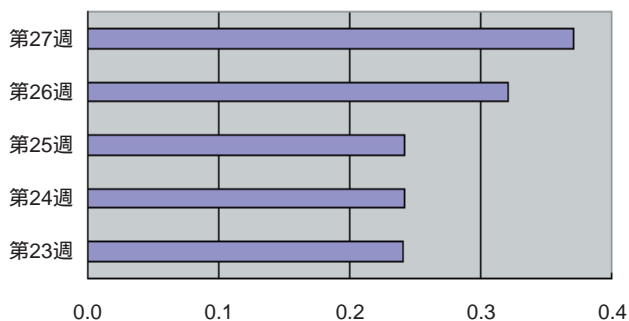
ヘルパンギーナ



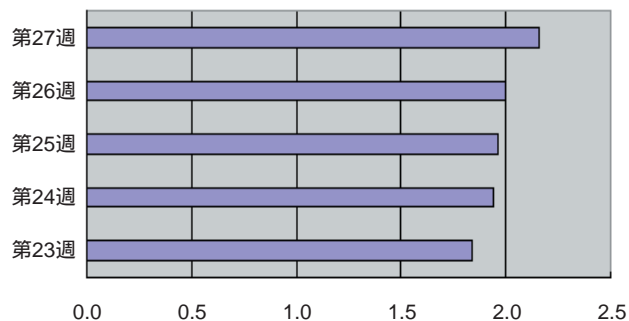
手足口病



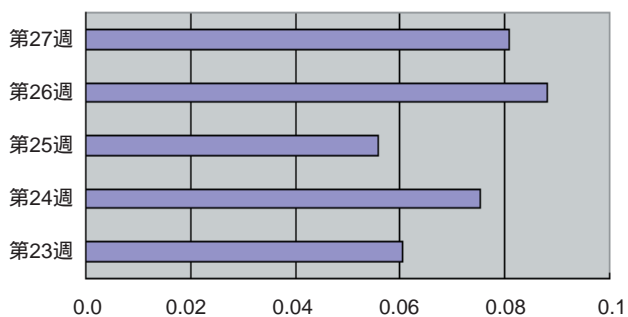
咽頭結膜熱



流行性耳下腺炎



無菌性髄膜炎



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



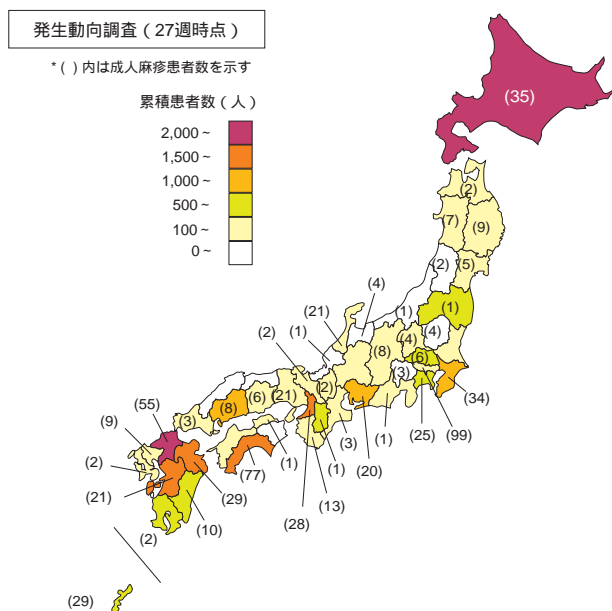
注目すべき感染症

麻疹流行状況

2001年第27週(7月2日～7月8日)の、全国定点医療機関からの麻疹報告患者総数は913で、定点当たり報告数は0.30である。2001年第1週からの累積患者数は27,577、性別内訳は男14,891、女12,686とやや男性に多い。累積報告数の年齢階級別では1歳未満3,836(うち6カ月未満375)、1歳6,217、2歳2,795、3歳2,026、4歳1,738、5～9歳6,113、10～19歳4,302、20歳以上550となっている。小児科定点から報告される麻疹患者は18歳未満の小児を対象としているが、小児科を受診する成人麻疹患者もあり、これらの症例が小児科定点を通じて報告されている。

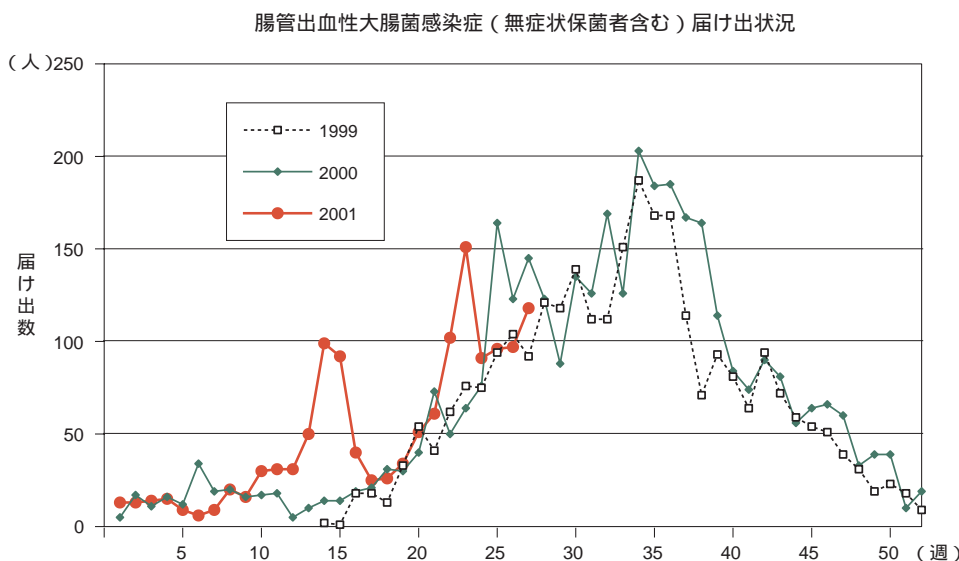
基幹病院定点から報告される18歳以上の成人麻疹については、2001年第1週から第27週までの累積報告数は651(昨年同期268)である。

厚生労働省感染症発生動向調査「警報・注意報発生システム」によれば、麻疹流行警報が福岡県の8保健所、北海道の7保健所、愛知県、熊本県、沖縄県の各5保健所など計56の保健所で、注意報は福岡県の6保健所、神奈川県、東京都、長崎県の各4保健所など計62の保健所で発生している。



腸管出血性大腸菌感染症流行状況

2001年は複数のO157感染症が広域発生した影響で、昨年に比べ患者報告数が早い時期から多く見られている。





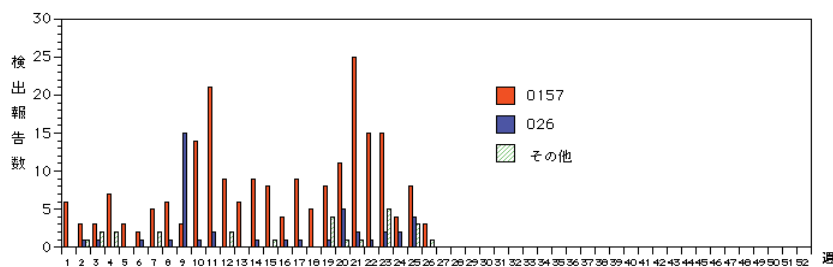
病原体情報

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2001年7月13日現在報告分)

ヒトから分離されたVero毒素産生性大腸菌O157およびO26検出報告 2001年

本年のVero毒素産生性大腸菌の検出総数は、O157が212件、O26が42件である。第21週には、石川県で起きた集団発生事例からのO157検出15件が報告された。最近では、O157が第25週に8件(函館市2、茨城県5、香川県1) 第26週に3件(茨城県2、京都市1) O26が第25週に4件(秋田県1、京都市1)の報告があった。

週別Vero毒素産生性大腸菌検出報告数、2001年 (病原微生物検出情報: 2001年7月13日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。

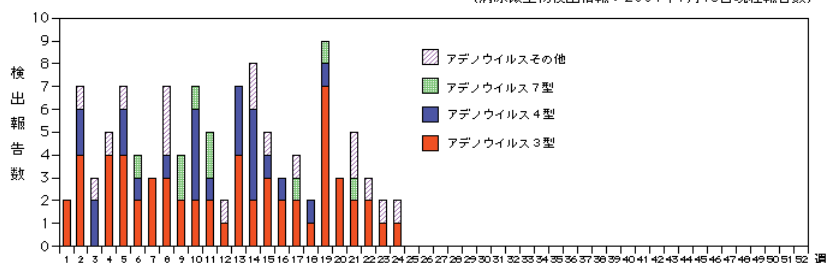


Infectious Agents Surveillance Report

咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス 2001年

本年分離報告されたウイルスは、アデノウイルス3型59件(長野県26、新潟県6、宮崎県5、広島市4など) 4型24件(兵庫県21、新潟県2、福岡市1) 7型9件(新潟県6、北九州市3) 2型7件(長野県3、新潟県、広島市、福岡県、北九州市各1) 1型5件(広島市3、長野県2) 5型4件(兵庫県3、北九州市1) 19型1件(広島市1)である。

週別咽頭結膜熱患者からのアデノウイルス分離報告数、2001年 (病原微生物検出情報: 2001年7月13日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

ヘルパンギーナ患者から分離されたウイルス 2001年

本年分離報告されたウイルスは、A群コクサッキーウイルス(CA)23件(2型9、5型4、8型4、4型3、10型2、6型1) B群コクサッキーウイルス(CB)12件(4型7、1型2、5型2、3型1) エコーウイルス(E)1件(11型1)である。

流行性角結膜炎患者から分離されたウイルス 2001年

本年分離報告されたウイルスは、アデノウイルス3型31件(札幌市10、香川県6、長野県、熊本県各4など) 4型12件(札幌市7、茨城県、香川県各2、長野県1) 37型8件(札幌市5、岡山県、広島市、熊本県各1) 8型5件(茨城県、岡山県各2、札幌市1) 19型4件(札幌市2、長野県、山梨県各1)である。

インフルエンザ 2000/2001シーズン

今シーズンの分離ウイルスは、A/ソ連(H1N1)型が1,854件、A/香港(H3N2)型が787件、B型が2,324件報告されている。2001年6月以降に分離されたウイルスは20件報告されており、A/香港型が1件(第22週;京都市1) B型が19件(第22週;新潟市2、川崎市1、第23週;沖縄県3、第24週;青森県、香川県各2、札幌市、長野県、沖縄県各1、第25週;名古屋市2、長野県1、第26週;名古屋市2、長野県1)である。



沖縄県における麻疹の流行と「麻疹(はしか)流行阻止緊急アピール」- 沖縄県

2001(平成13)年7月5日、沖縄県福祉保健部、沖縄県予防接種対策協議会、社団法人沖縄県医師会、社団法人沖縄県小児保健協会、沖縄はしか“0”プロジェクト委員会は連名で、沖縄県内における死亡例を含む麻疹流行の継続に対して「麻疹流行阻止緊急アピール」を発表した。アピールされた提言内容を、以下に要約する。

1. 保護者は、定期予防接種を特に1歳の早期に徹底させること。1歳未満でも保育園児など感染機会が多い場合は、任意予防接種をかかりつけ医と相談すること。
2. 市町村は、予防接種行政を強力に推進すべきである。1歳児の麻疹予防接種率は95%以上を目標とする。流行時の1歳未満児への任意接種についても実施体制を整備すること。
3. 保育所などの施設は、園児等の予防接種歴の把握と感受性者への接種勧奨を行うこと。施設内感染の防止に努めること。
4. 保健・医療機関は、予防接種の正しい知識の普及に努めること。各種健診等の機会をとらえて地域における予防接種の推進に一層取り組むこと。
5. 麻疹は小児だけの感染症ではないことを認識する。医療関係者、保育関係者、妊婦等で予防接種歴や感染歴がない、又は不明の場合は特に注意すること。

沖縄県では1998(平成10)年9月から1999(平成11)年8月にかけて麻疹が流行した。この流行では小児科34定点より2,034名の感染者が報告され、8名が死亡した(病原微生物検出情報:1999年11月号月報掲載)。

その後、2000(平成12)年秋より再び麻疹感染者の増加が認められた。小児科定点では2001(平成13)年第17週(4月23日～29日)の定点当たり1.94をピークに、第26週(6月25日～7月1日)現在も同1.65と高値を継続中である。2000年第36週より2001年第26週までの期間、小児科34定点からは1,006名(1歳台が265名、26%で最多)、基幹病院7定点からは成人31名の麻疹患者が報告された。2001(平成13)年4月には、沖縄県南部で9カ月女児が麻疹肺炎にて死亡しており、また妊婦の麻疹感染による自然流産例も散見されている。沖縄県内の1999(平成11)年度の麻疹ワクチン接種率は全体で69.1%、1歳台での接種率は65.9%であった。県内13市町村では、緊急対策として6～12カ月未満児に対する任意予防接種を、5～8月を中心とした期間限定にて自治体の費用負担で行っている。

沖縄県福祉保健部健康増進課

砂川 悟 古謝 隆 崎山 八郎

国立感染症研究所感染症情報センター

砂川 富正 岡部 信彦

(IASR2001年8月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ (<http://www.forth.go.jp/>) をご覧下さい。

スペインでレジオネラ症の流行

WHO/CSR 2001年7月12日

7月11日までに、スペインの国立疫学センターはMurciaで470例のレジオネラ症疑い患者が発生したことを報告した。これらの症例のうち178例が、検査によってレジオネラ症の確定診断がなされた。最初の症例が入院したのは7月1日であり、この流行で65歳の男性1人が死亡した。旅行者から患者が発生したという報告はない。

患者の大半は市の北部地区の住民である。この地区にある複数の冷却塔が感染源として強く疑われているが、他の可能性のある感染源についても調査が行われている。

保健当局による詳細な調査と、環境からの標本採取が現在行われている。

レジオネラ症は細菌感染症であり、人にはレジオネラ菌を含むエアゾールを吸入することによって感染する。制御対策としては、感染源の除去が中心である。ヒトからヒトへの感染の伝播はない。



感染症の話

手足口病

手足口病(hand, foot and mouth disease : HFMD)は、その名が示すとおり、口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症で、幼児を中心に夏季に流行が見られる。1950年代後半に認識された比較的歴史の新しいウイルス性発疹症であり、我が国では1967年頃からその存在が明らかになった。本疾患はコクサッキーA16(CA16)、CA10、エンテロウイルス71(EV71)などのエンテロウイルスによりおこり、基本的に予後は良好な疾患である。しかし、急性髄膜炎の合併が時に見られ、稀であるが急性脳炎を生ずることもあり、なかでもEV71は中枢神経系合併症の発生率が他のウイルスより高いことが知られている。

疫学

本症は4歳位までの幼児を中心とした疾患であり、2歳以下が半数を占めるが、学童でも流行的発生がみられることがある。また、学童以上の年齢層の大半は既にこれらのウイルスの感染(不顕性感染も含む)を受けている場合が多いので、成人での発症はあまり多くない。

感染症発生動向調査によると、国内における手足口病流行のピークは夏季であるが、秋から冬にかけても多少の発生が見られる(「グラフ総覧」13ページ参照)。最近では、1985年、1990年、1995年、2000年と5年おきに比較的大きな流行がみられており、それぞれの年に検出されたウイルスをみると、85年はCA16、90年はEV71、CA16、CA10の混合流行、95年はCA16、2000年はEV71がそれぞれ流行の主流となっている。

最近数年間にアジア地域では死亡例を伴った比較的大きな流行が見られ、注目を浴びた。1997年4～6月にマレーシア・サラワクではHFMDの大流行が見られ、急速な経過で死亡する例が30例以上報告された。この間、エンテロウイルスを初めとする複数のウイルスが検出されたが、死亡例からは咽頭、便などからEV71が分離されている。また剖検が行われた少数例では、中枢神経系に浮腫、炎症像がみられ、脳幹脳炎が1例に見られた。1997年大阪においては、HFMDの発生状況は例年をやや下回る程度であったが、HFMDあるいはEV71感染と関連が濃厚な小児の死亡例が3例報告された。3例ともに急性脳炎と肺水腫が認められた。その後、台湾においては1998年2月頃よりHFMDが増加し、5月をピークとする大流行となった。HFMDに関連する髄膜炎、脳炎、急性弛緩性麻痺(acute flaccid paralysis : AFP)などが相次ぎ、EV71が分離され、12月までに台湾全土で死亡が78例と報告された。2000年6～8月に兵庫県で脳炎による死亡例を含むHFMDの流行がみられ、EV71が検出されている(IASR2001年6月号参照)。

病原体

CA16、CA10、EV71などのエンテロウイルスが病因となる。ヒト-ヒト伝播は主として咽頭から排泄されるウイルスによる飛沫感染でおこるが、便中に排泄されたウイルスによる経口感染、水疱内容物からの感染などがありうる。便中へのウイルスの排泄は長期間にわたり、症状が消失した患者も2～4週間にわたり感染源になりうる。腸管で増殖したウイルスが血行性に中枢神経系(特にEV71)、心臓(特にCA16)などに到達すると、それらの臓器の症状を起こしうる。いちどHFMDを発病すると、その病因ウイルスに対する免疫は成立するが、他のウイルスによるHFMDを起こすことは免れない。

臨床症状

3～5日の潜伏期において、口腔粘膜、手掌、足底や足背などの四肢末端に2～3mmの水疱性発疹が出現する(図)。時に肘、膝、臀部などにも出現することもある。口腔粘膜では小潰瘍を形成することもある。発熱は約1/3に見られるが軽度であり、38 以下のことがほとんどである。通常は3～7日の経過で消退し、水疱が痂皮を形成することはない。

稀には髄膜炎、小脳失調症、脳炎などの中枢神経系合併症の他、心筋炎、AFPなどを生ずることもある。特に、EV71による場合には、中枢神経系合併症に注意する必要がある。



病原診断

通常は臨床的になされることが多く、水疱性発疹の性状、分布が重要であり、季節や周囲での流行状況などが参考となる。鑑別診断としては、口腔内水疱についてはヘルパンギーナ、ヘルペスウイルスによる歯肉口内炎、アフタ性口内炎などが挙げられる。手足の発疹に関しては、水痘の初期疹、ストロフルス、伝染性軟疣腫(水いぼ)などが鑑別の対象となる。

病原診断としてはウイルス分離が重要である。その場合、臨床材料として水疱内容物、咽頭拭い液、便、直腸拭い液などが用いられる。血清診断は補助的であるが、行う場合には、エンテロウイルス間での交差反応がない中和抗体の測定が勧められる。急性期と回復期の血清で4倍以上の抗体価上昇により診断する。



図 . 手足口病における水疱性発疹

治療・予防

特別な治療を要しないことがほとんどである。発疹にかゆみなどを伴うことは稀であり、抗ヒスタミン剤の塗布を行うことはあるが、副腎皮質ステロイド剤などの必要はない。口腔内病変に対しては、刺激にならないよう柔かめで薄味の食べ物を勧めるが、何れも水分不足にならないようにすることが最も重要である。薄いお茶類、スポーツ飲料などで水分を少量頻回に与えるよう努める。ときには経静脈的補液も必要となる。

発熱に対しては通常解熱剤なしで経過観察が可能である。抗生剤の投与は意味がない。しかし、元気がない、頭痛、嘔吐、高熱、2日以上続く発熱などの場合には髄膜炎、脳炎などへの進展を注意する。合併症を生じた場合の特異的な治療法は確立されていない。

予防としては患者に近づかない、手洗いの励行などである。患者あるいは回復者に対しても、特に排便後の手洗いを徹底させる。手足口病の原因ウイルスに対するワクチンは開発されていない。

感染症法での取り扱い

手足口病は4類感染症定点報告疾患である。その報告は、全国約3,000の小児科定点より毎週なされている。報告のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下の2つの基準を満たすもの。

1. 手のひら、足底または足背、口腔粘膜に出現する2～5mm程度の水疱
2. 水疱は痂皮を形成せずに治癒

上記の基準は必ずしも満たさないが、診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、病原体診断や血清学的診断によって当該疾患と診断されたもの。

学校保健法での取り扱い

手足口病は、学校で予防すべき伝染病1～3種に含まれていない。本文中に示した通り、主症状から回復した後もウイルスは長期にわたって排泄されることがあるので、急性期のみ登校登園停止を行って、学校・幼稚園・保育園などでの流行阻止をねらっても、効果はあまり期待ができない。本症の大部分は軽症疾患であり、脱水および合併症、ことに髄膜炎・脳炎などについて注意がおよんでいれば、集団としての問題は少ないため、発疹だけの患児に長期の欠席を強いる必要はなく、また現実的ではない。

通常の流行状況での登校登園の問題については、流行阻止の目的というより先患者本人の状態によって判断すればよいと考えられる。

(国立感染症研究所感染症情報センター)



読者のコーナー

Q: インフルエンザワクチンについて勉強しているんですが、どうしても解からないことがあります。インフルエンザワクチンは毎年流行株を予測して作られるといいますが、あらゆる種類のウイルス株を入れてしまうことはできないのでしょうか?一緒に学習している友達と話し合っ、あまりウイルス株が多すぎると病原性が現れてしまうからではないか、などと話したりしていますが・・・。

(佐賀県医学生J.T.さん)

インフルエンザワクチンについて

現在のインフルエンザワクチンは不活化ワクチンですので、微生物としての活動性は完全に失活されているものが用いられます。したがって、そのウイルスのもつ病原性が現れることはなく、多くのウイルス株を用いたインフルエンザワクチンを作って接種を行ったとしても、インフルエンザの症状が現れることはありません。

インフルエンザ不活化ワクチンは、交差免疫性(他のウイルス株に対する免疫性)はそれほど高くはないので、流行予想株を厳選する必要があります。一つのワクチンとして同じバイアルの中にたくさんのウイルス株を入れてしまうと、不必要なものが多すぎて生産が複雑になったり、免疫効率が落ちてくる可能性もあります。

また、通常の1回接種量である0.5mlのなかにワクチンとして含むことの出来る抗原蛋白量は限られているので、たくさんのウイルス株を入れることが出来ません。

しかし、交差免疫原性が高いものの方がインフルエンザワクチンとして効率がよいので、最近米国で実用化された経鼻投与のインフルエンザ生ワクチンは、そのような点でメリットが高いと言われています。

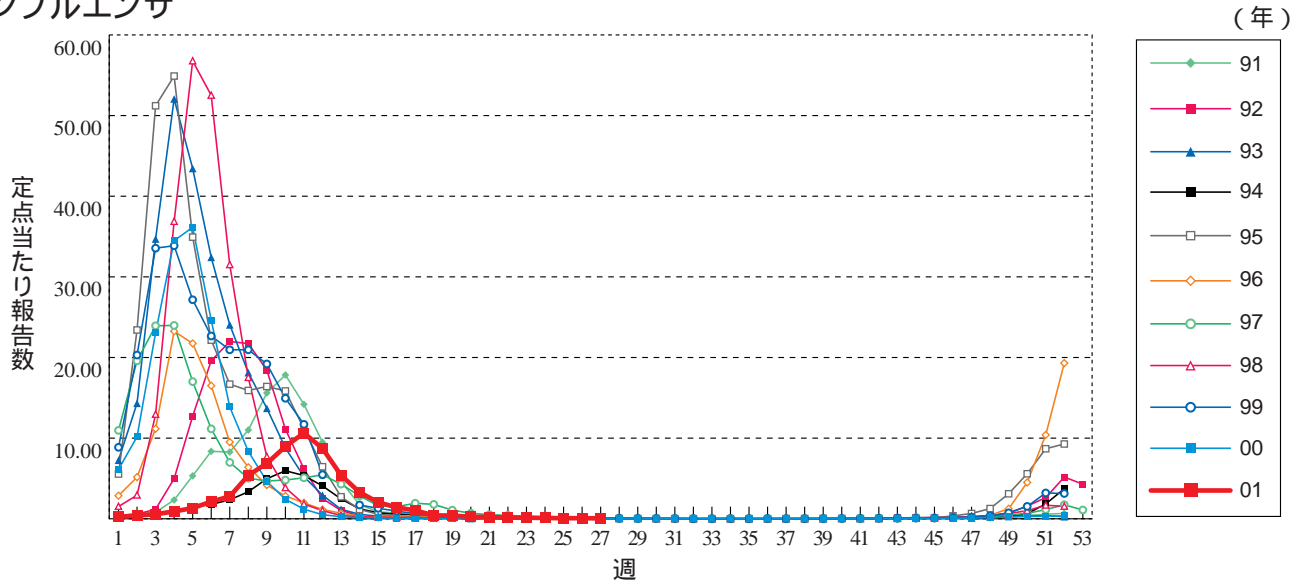
(国立感染症研究所感染症情報センター)

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

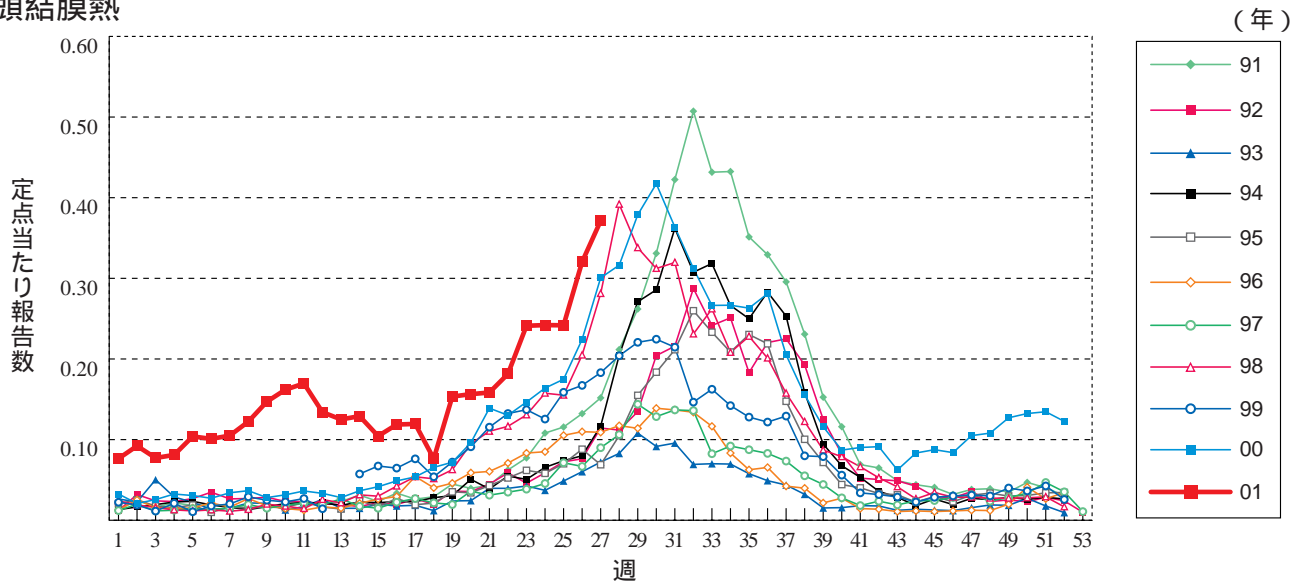
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(27週)

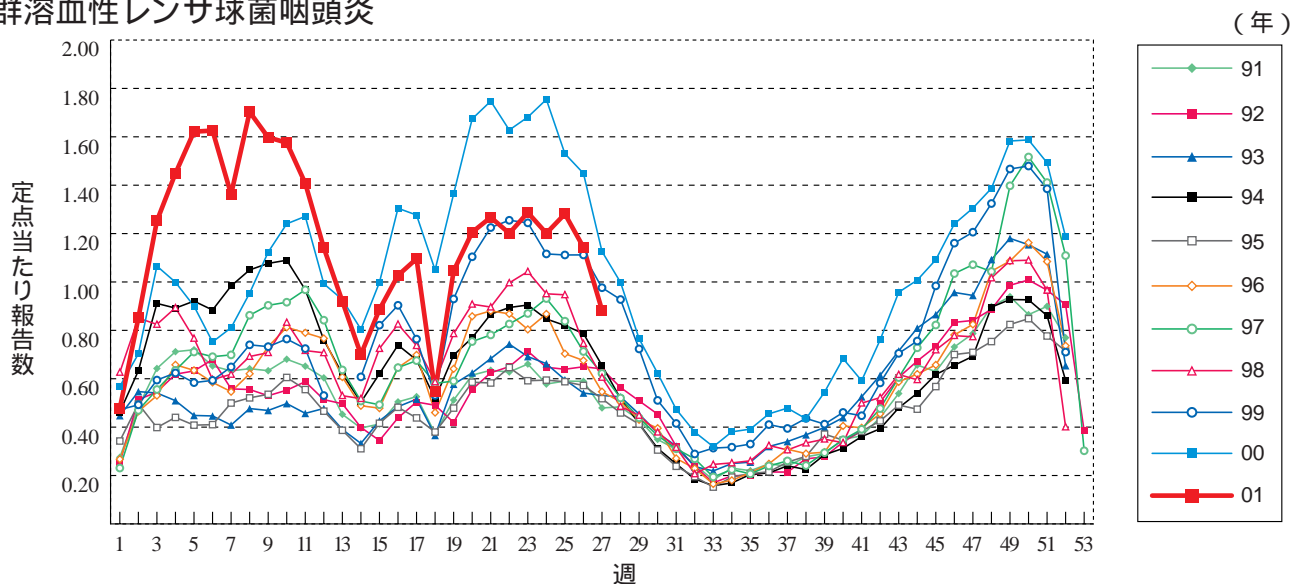
インフルエンザ



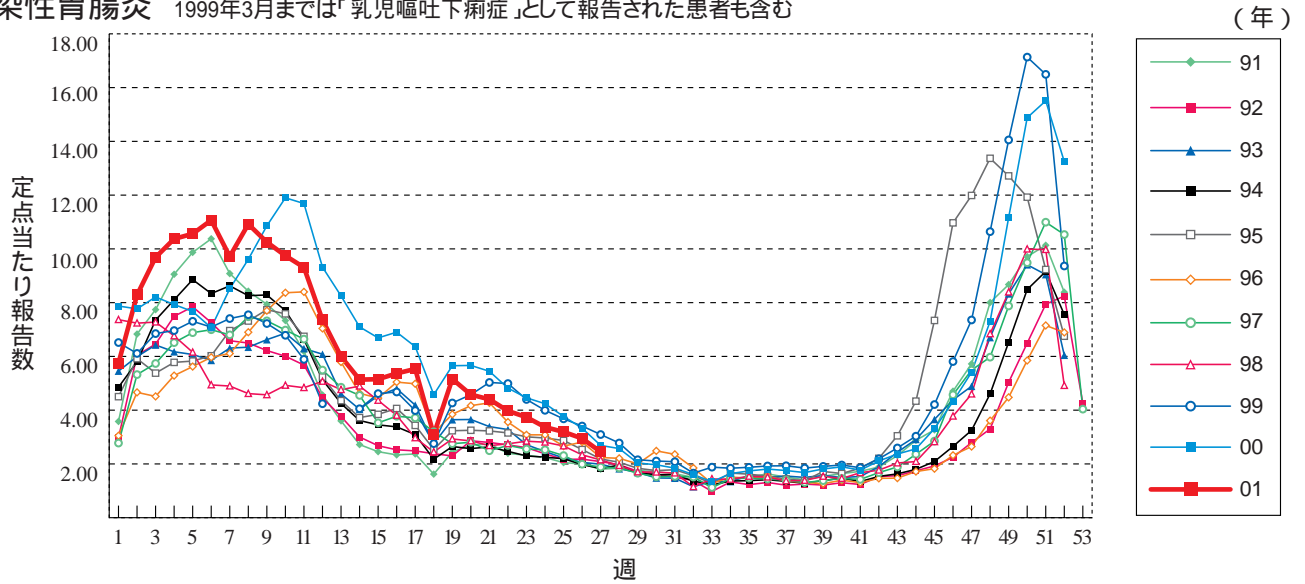
咽頭結膜熱



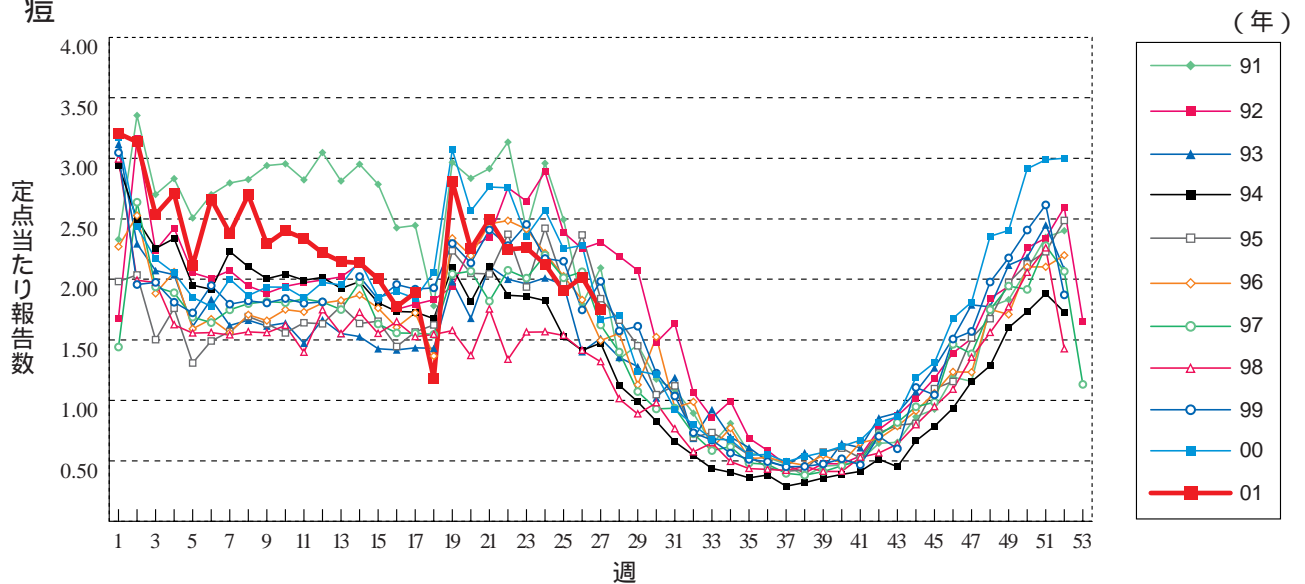
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



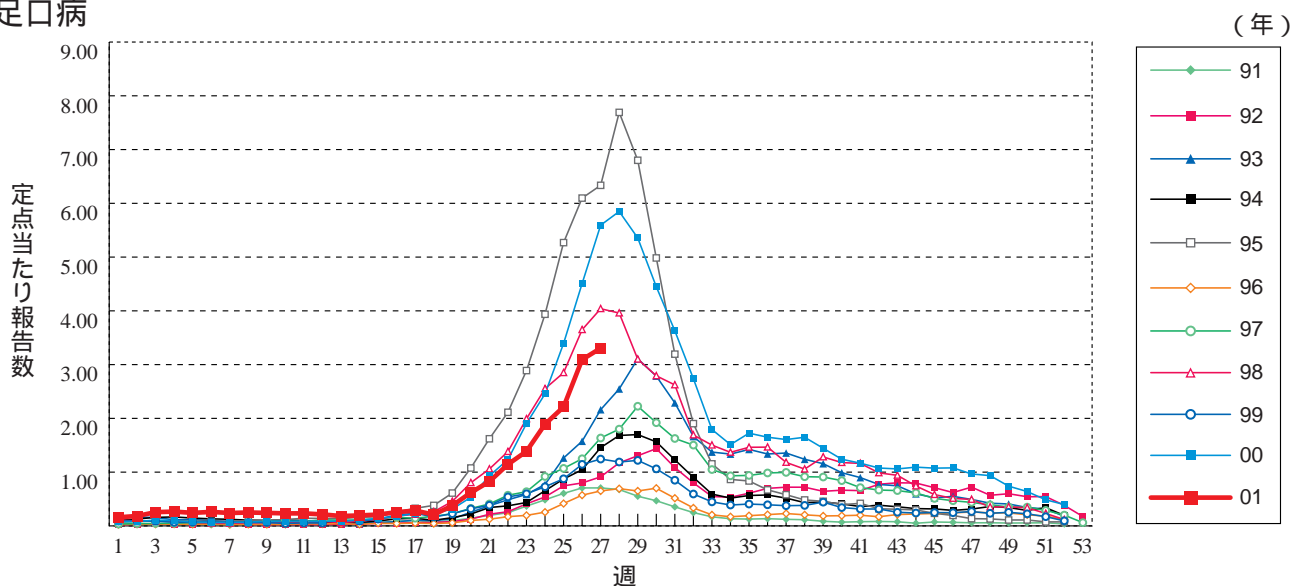
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



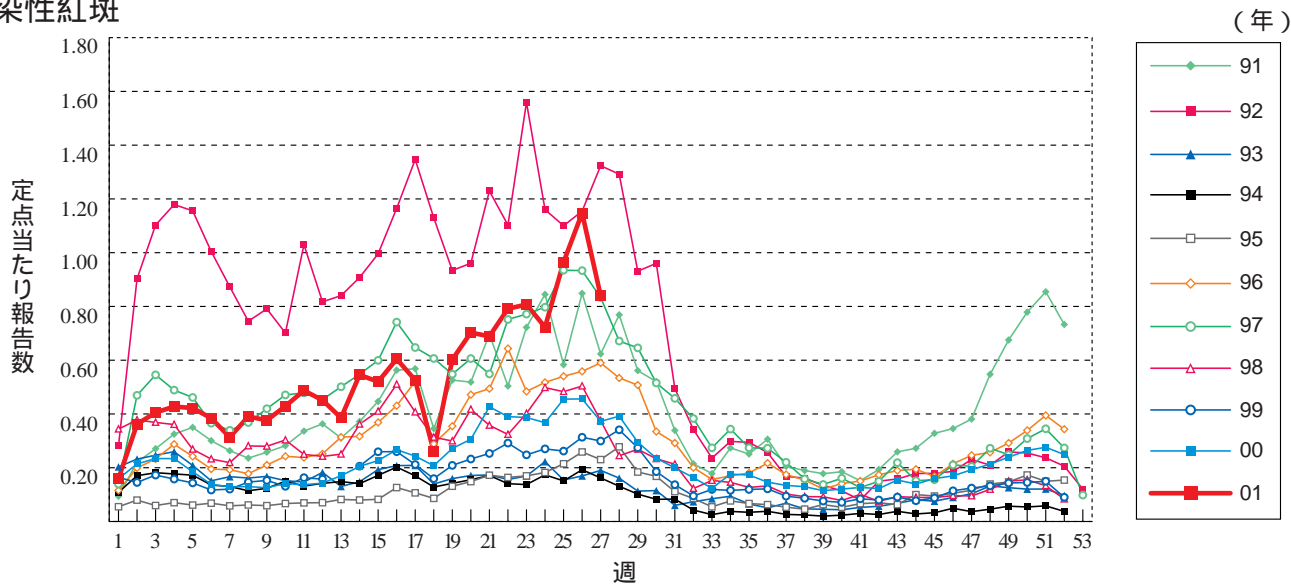
水痘



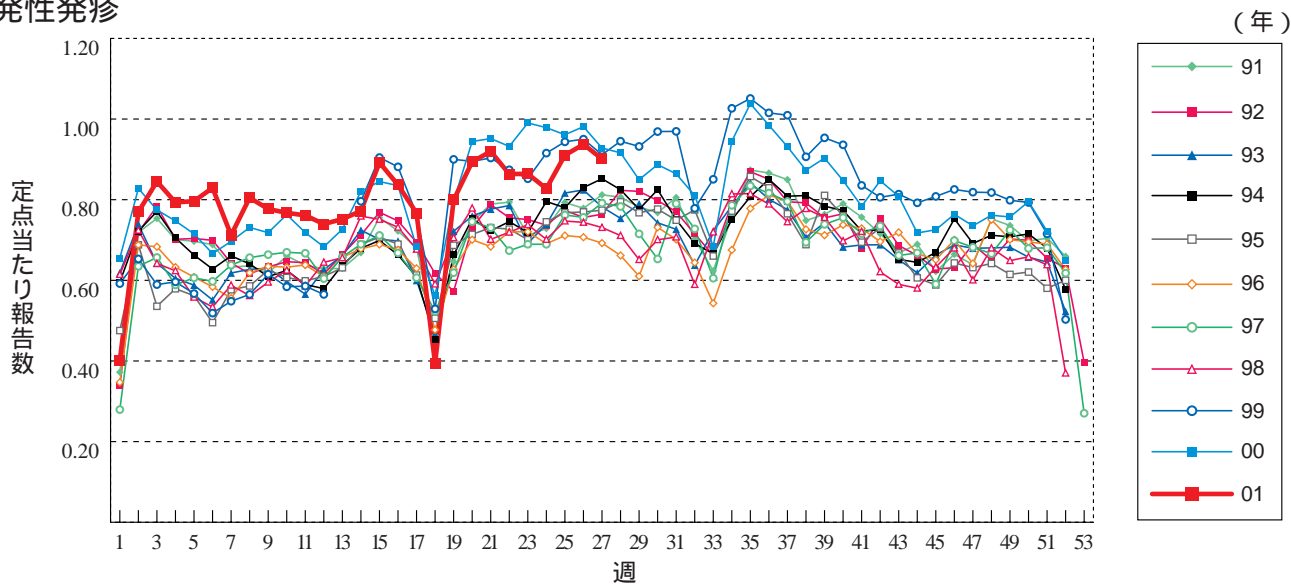
手足口病



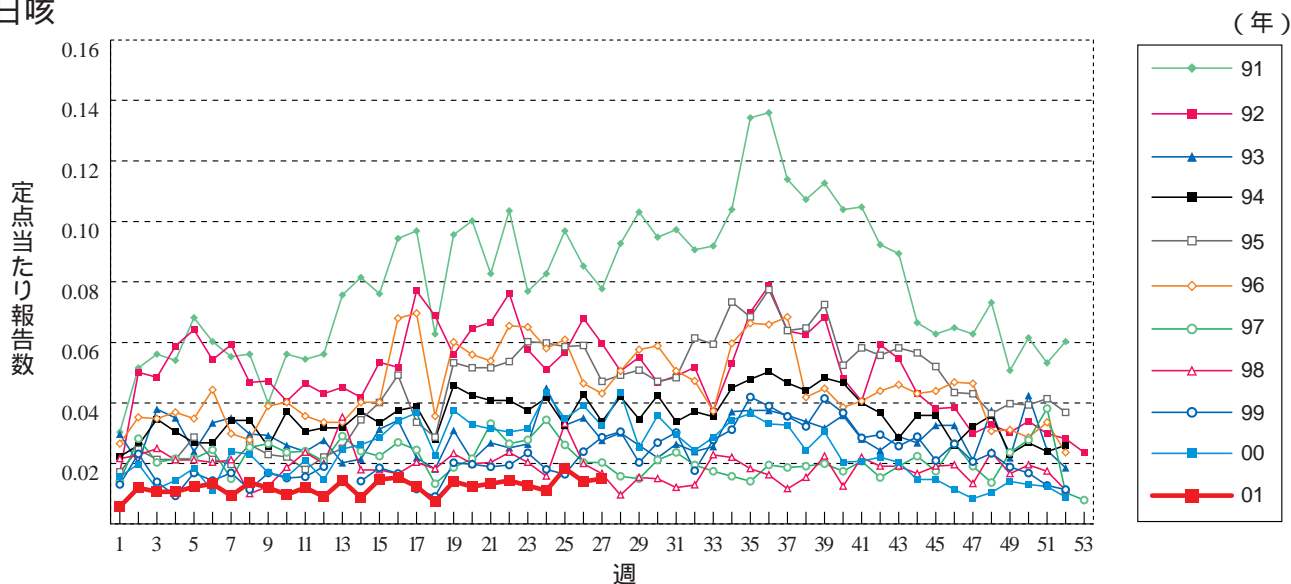
伝染性紅斑



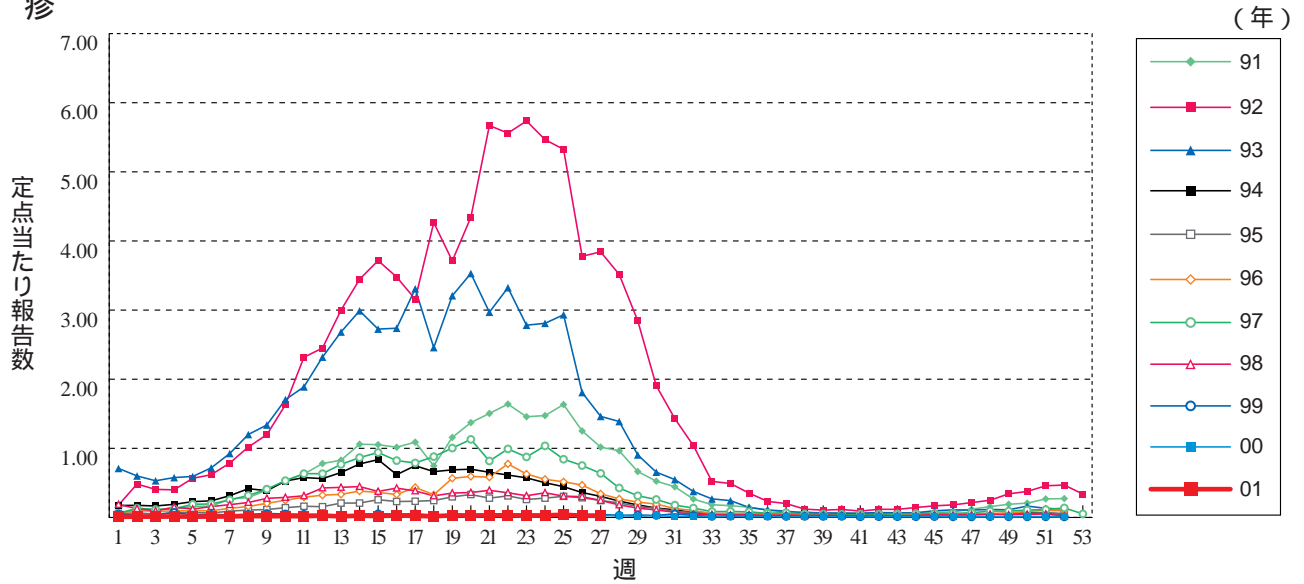
突発性発疹



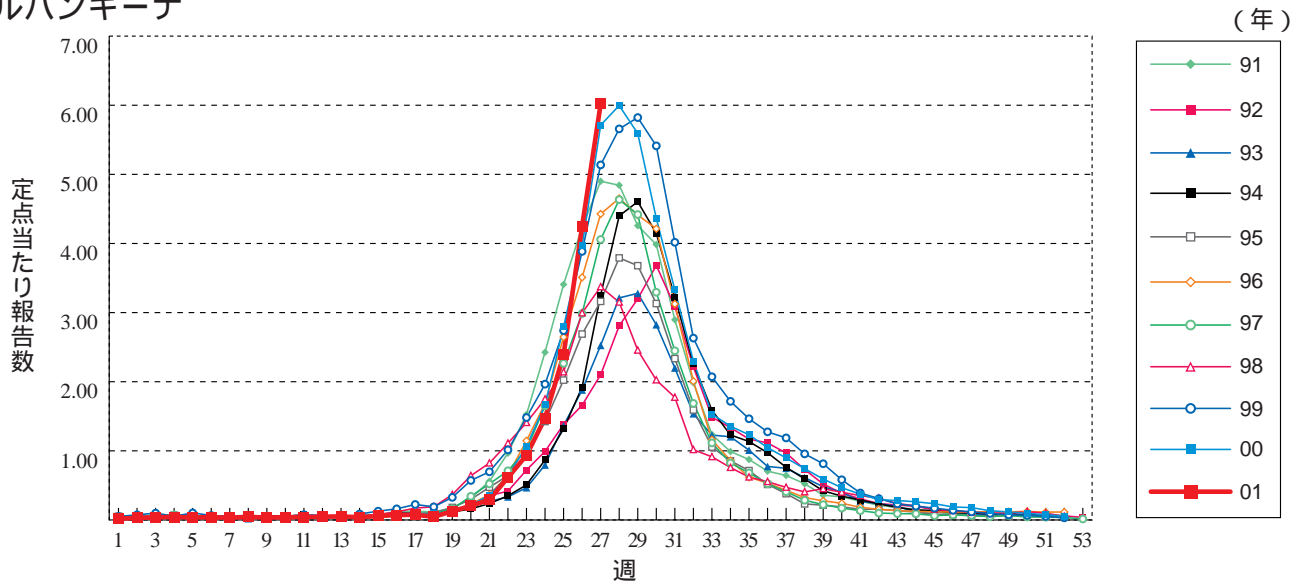
百日咳



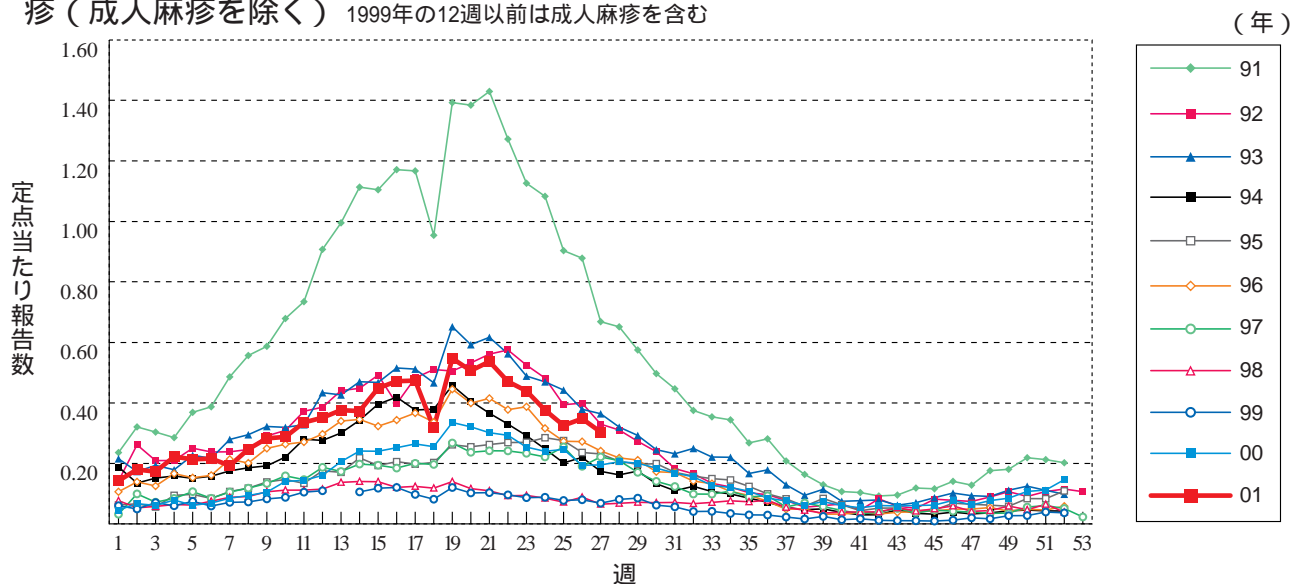
風 疹



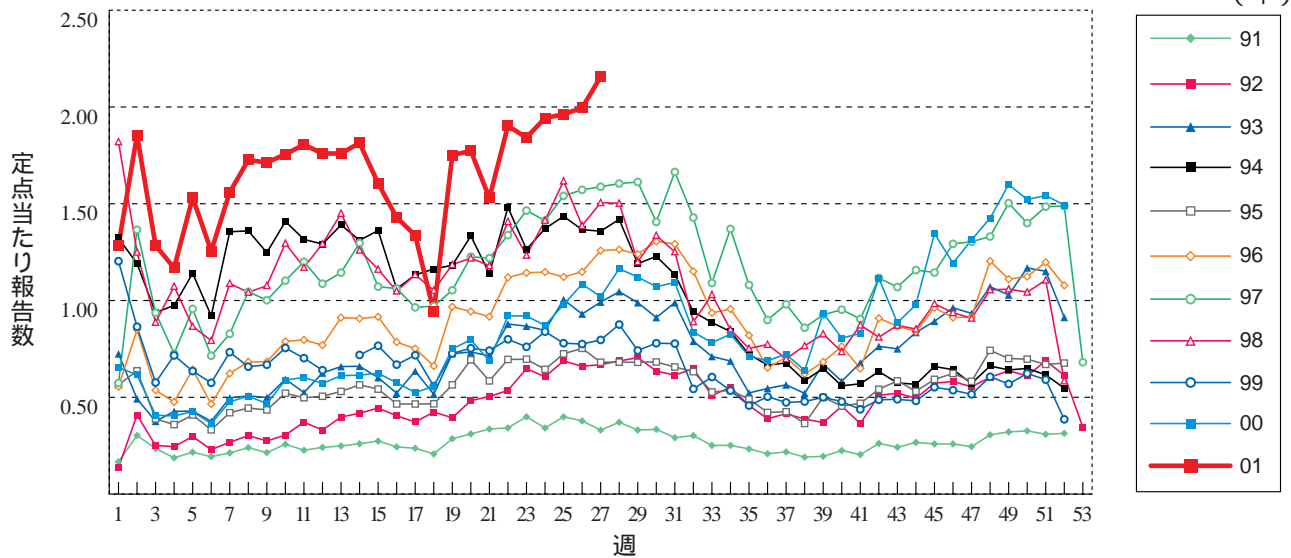
ヘルパンギーナ



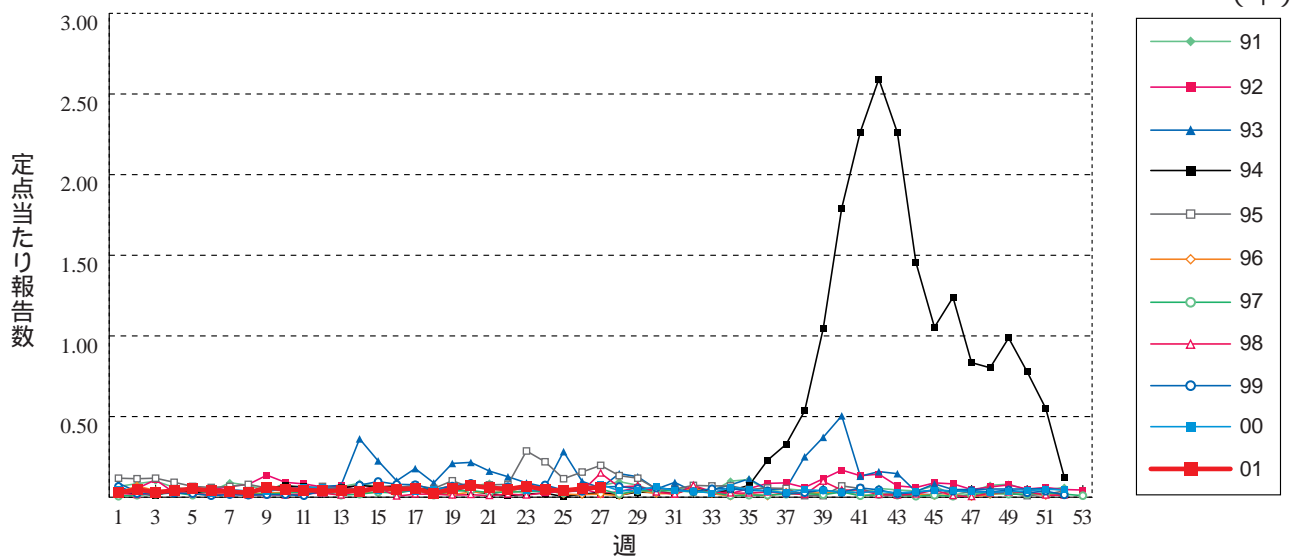
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



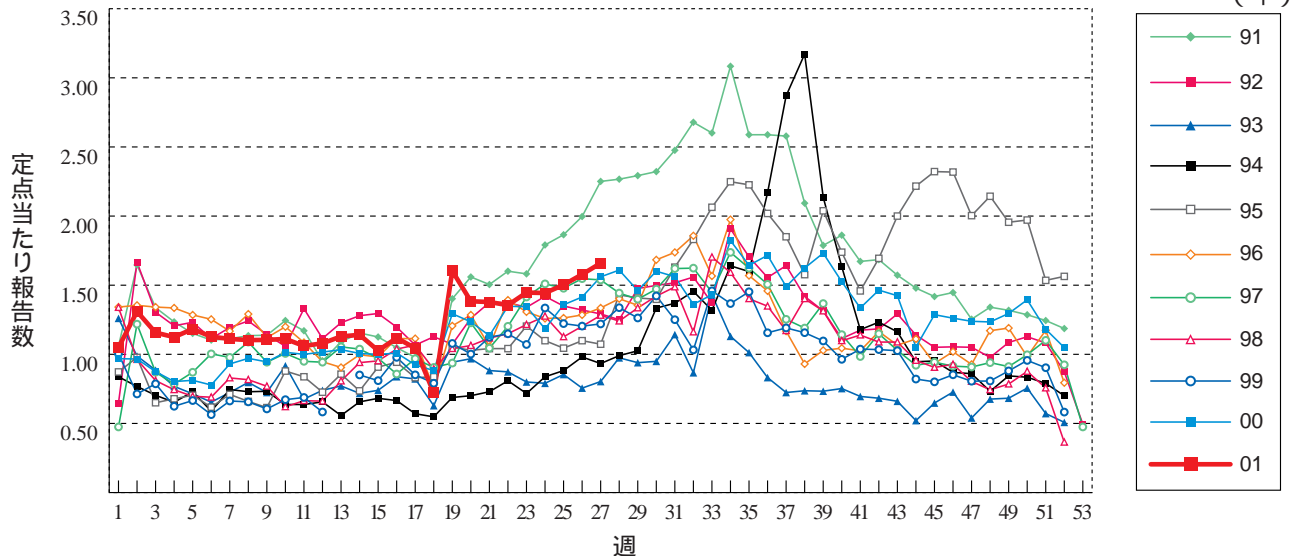
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

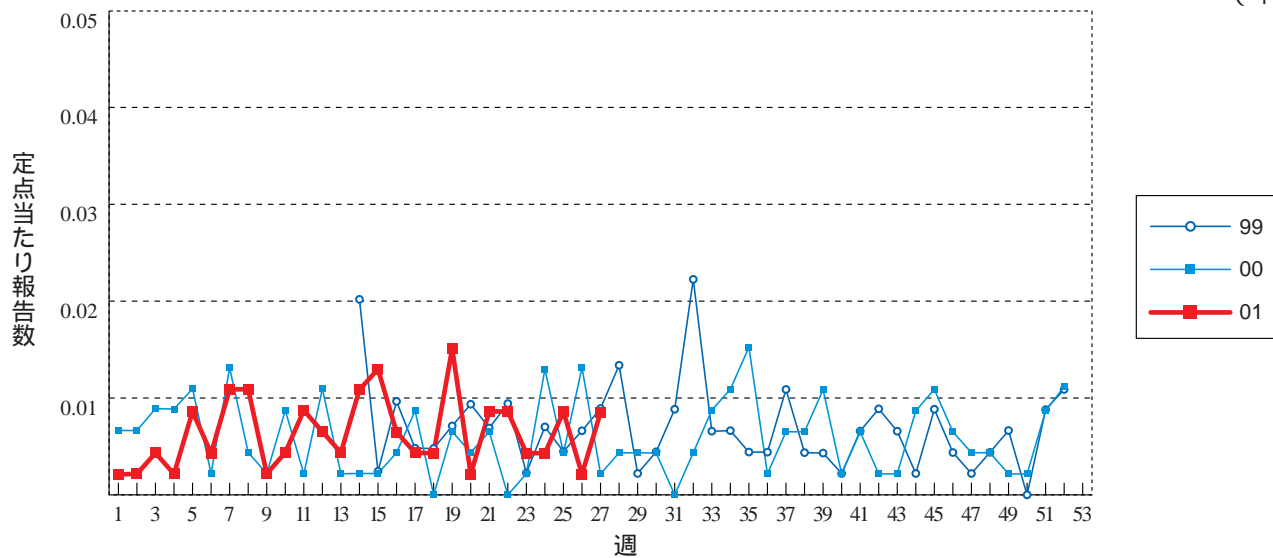


流行性角結膜炎



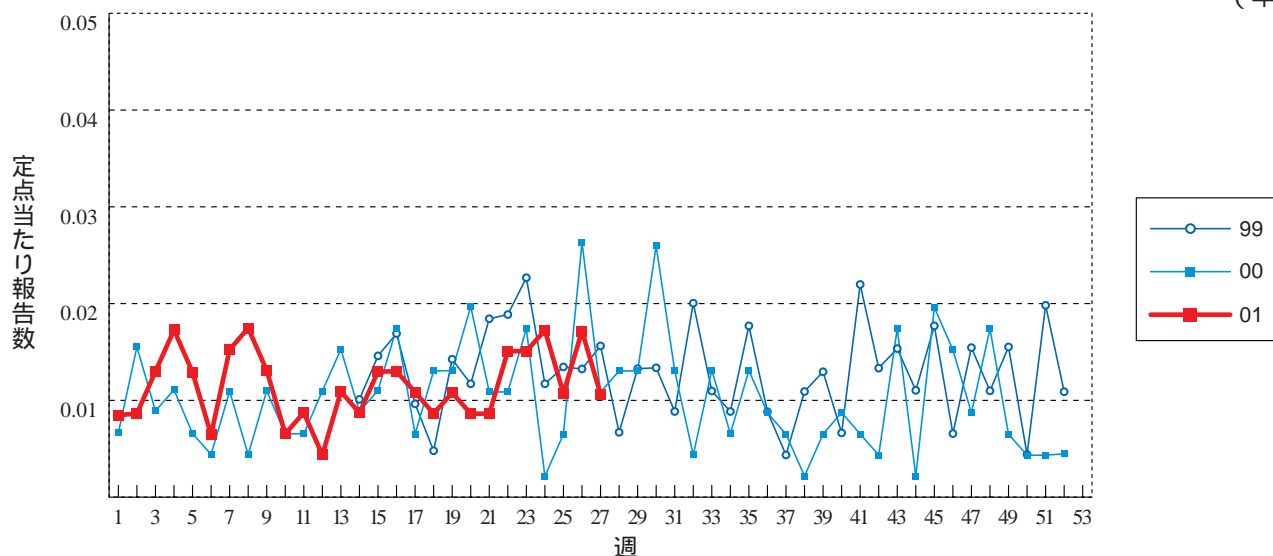
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



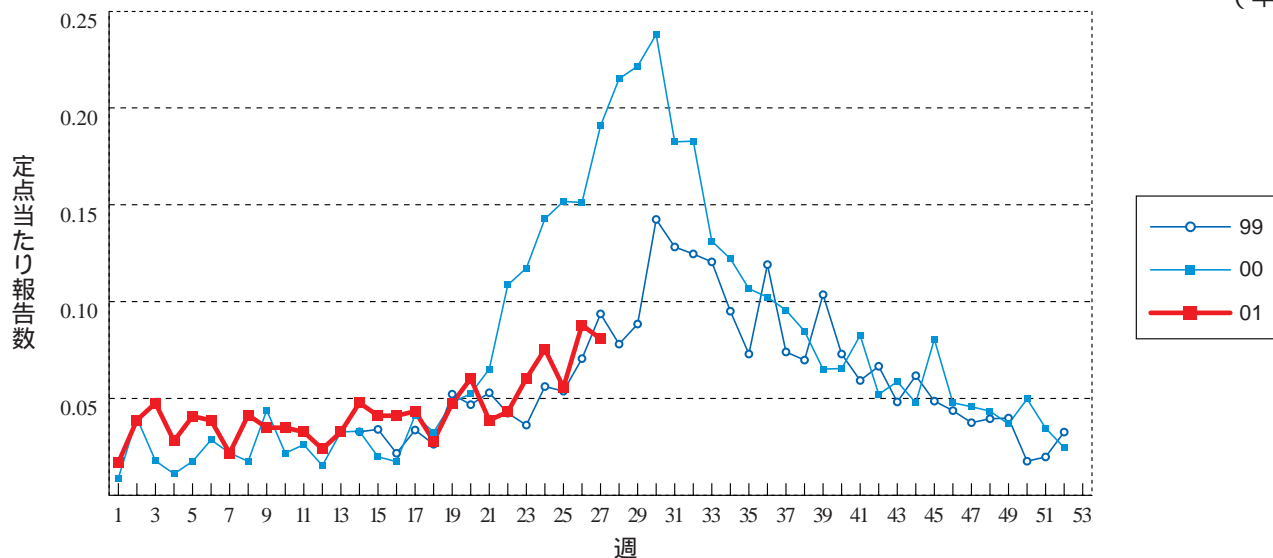
細菌性髄膜炎

(年)



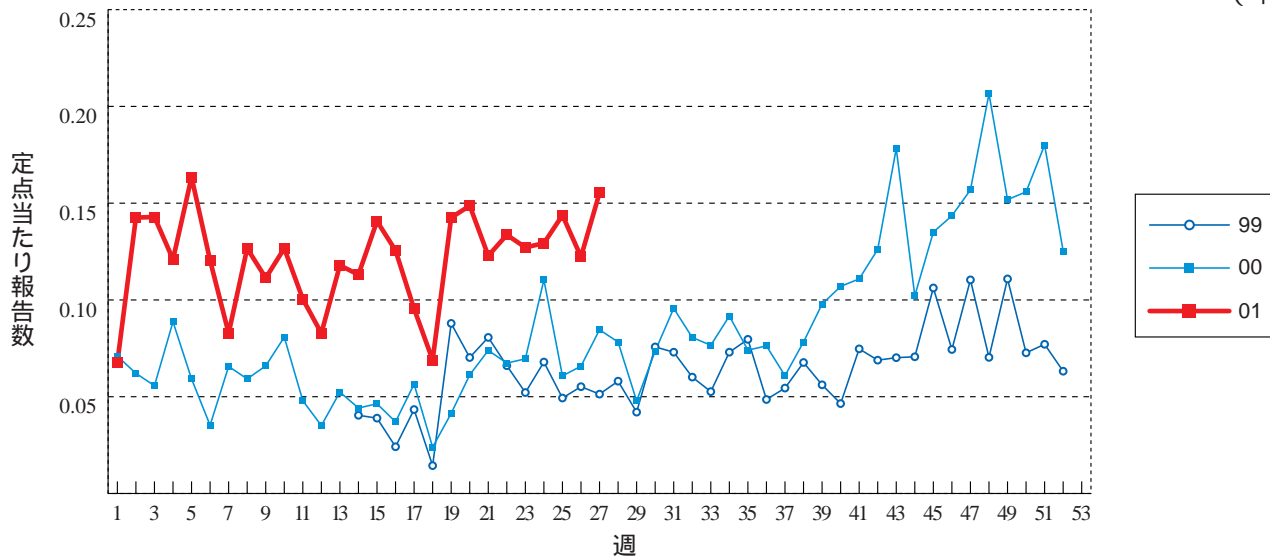
無菌性髄膜炎

(年)



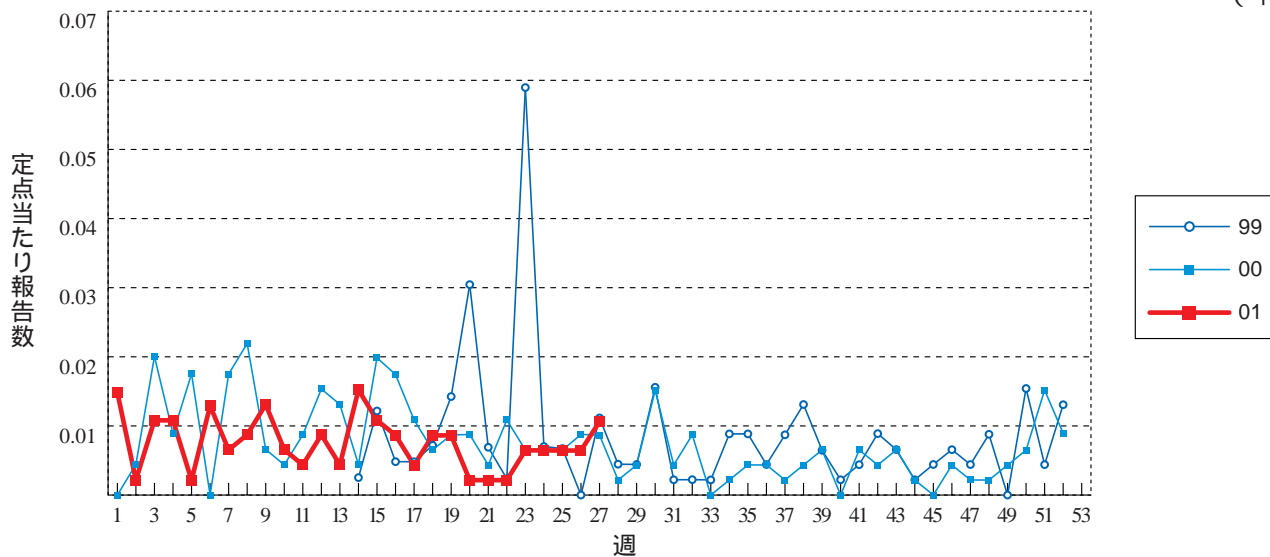
マイコプラズマ肺炎

(年)



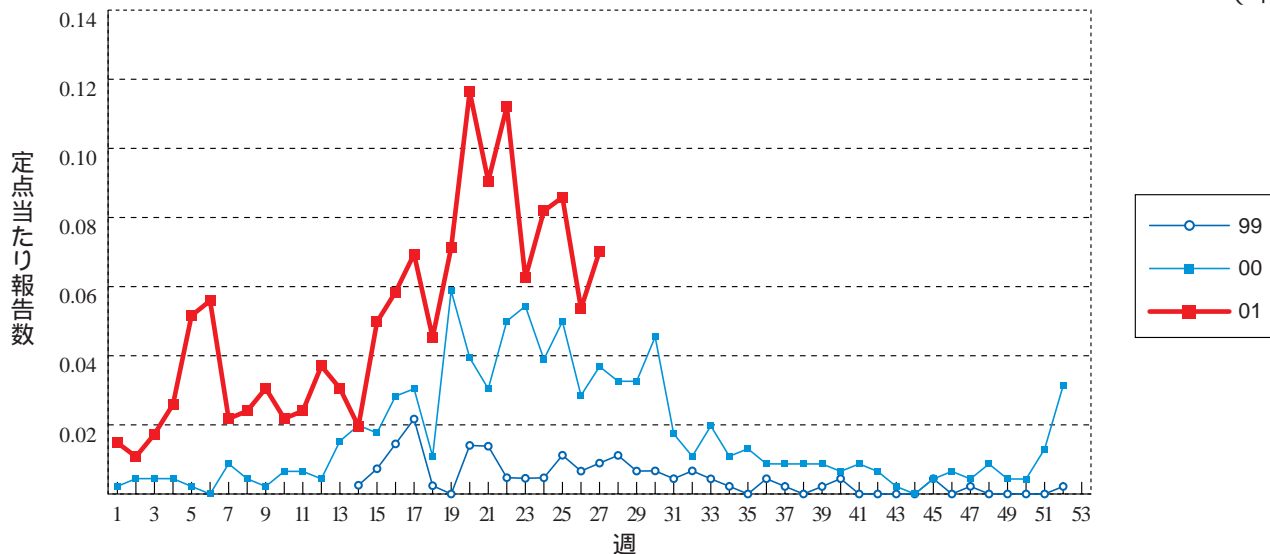
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





27週のデータ

注)表中の報告数は7月13日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年27週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	23	8	325	-	34	-	10
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	16	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	16	-	2	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	1	64	-	12	-	7
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	23	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	9	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	21	-	3	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	1	24	-	5	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	21	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	16	-	1	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年27週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	115	1323	3	185	-	5	-	-	-	23	-	-	13	442
北海道	-	-	-	-	1	36	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	5
青森県	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	3	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
宮城県	-	-	-	-	2	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	18
秋田県	-	-	-	-	2	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山形県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	5	14	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	1	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
栃木県	-	-	-	-	-	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	2	23	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
埼玉県	-	-	-	-	2	80	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8
千葉県	-	-	-	-	5	170	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
東京都	-	-	-	-	9	118	1	62	-	-	-	-	-	6	-	-	3	62
神奈川県	-	-	-	-	3	121	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29
新潟県	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	5	41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
石川県	-	-	-	-	1	30	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1	4
福井県	-	-	-	-	2	4	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長野県	-	-	-	-	1	11	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8
岐阜県	-	-	-	-	1	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40
静岡県	-	-	-	-	2	19	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	9	62	-	8	-	-	-	-	-	4	-	-	1	12
三重県	-	-	-	-	1	14	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	23	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	1	41	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
大阪府	-	-	-	-	29	129	1	31	-	-	-	-	-	3	-	-	-	46
兵庫県	-	-	-	-	-	50	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	3	44
奈良県	-	-	-	-	1	23	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
鳥取県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	12	18	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	22	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
広島県	-	-	-	-	-	31	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11
山口県	-	-	-	-	2	11	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
香川県	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	1	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
福岡県	-	-	-	-	2	28	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
佐賀県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	24	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
熊本県	-	-	-	-	1	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮崎県	-	-	-	-	3	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
鹿児島県	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
沖縄県	-	-	-	-	2	10	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年27週

	Q熱		狂犬病		クリプトスפורジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	13	-	-	-	3	2	55	-	24	7	444	-	1	1	73	-	-
北海道	-	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	1	8	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	14	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	15	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	2	1	31	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	-	4	-	2	3	187	-	-	1	34	-	-
神奈川県	-	1	-	-	-	1	-	3	-	-	-	41	-	-	-	5	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	-	-	-	-	1	-	1	-	7	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	2	-	17	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	6	-	-	-	6	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	35	-	-	-	11	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	6	-	2	-	11	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年27週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	4	-	-	-	-	2	188	1	16	1	14	-	-	-	-	4	271
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10
青森県	-	-	-	-	-	-	2	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山形県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
東京都	-	1	-	-	-	-	-	4	-	8	-	-	-	-	-	-	-	48
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	9
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	15
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	12
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	13
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	1	3	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年27週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	32	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	1	49	1	2	1	40
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
千葉県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
東京都	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	5
神奈川県	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県別

平成13年27週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	255	0.06	1116	0.37	2656	0.88	7360	2.45	5273	1.75	9938	3.31	2524	0.84	2709	0.90	45	0.01
北海道	10	0.04	30	0.21	179	1.23	181	1.25	376	2.59	166	1.14	33	0.23	100	0.69	1	0.01
青森県	10	0.16	18	0.43	22	0.52	67	1.60	62	1.48	48	1.14	35	0.83	18	0.43	1	0.02
岩手県	1	0.02	7	0.19	15	0.41	63	1.70	64	1.73	10	0.27	32	0.86	25	0.68	-	-
宮城県	2	0.02	7	0.12	76	1.29	270	4.58	215	3.64	71	1.20	90	1.53	61	1.03	1	0.02
秋田県	4	0.07	1	0.03	37	1.06	139	3.97	41	1.17	264	7.54	49	1.40	27	0.77	-	-
山形県	1	0.02	9	0.30	86	2.87	75	2.50	67	2.23	31	1.03	76	2.53	29	0.97	-	-
福島県	-	-	10	0.21	23	0.48	101	2.10	136	2.83	21	0.44	30	0.63	31	0.65	-	-
茨城県	4	0.03	21	0.29	59	0.81	148	2.03	102	1.40	66	0.90	34	0.47	23	0.32	2	0.03
栃木県	-	-	10	0.22	69	1.50	97	2.11	45	0.98	19	0.41	34	0.74	34	0.74	-	-
群馬県	-	-	24	0.39	106	1.71	112	1.81	70	1.13	111	1.79	74	1.19	56	0.90	-	-
埼玉県	13	0.05	139	0.87	206	1.29	442	2.76	412	2.58	482	3.01	296	1.85	151	0.94	3	0.02
千葉県	-	-	52	0.41	157	1.23	275	2.15	262	2.05	471	3.68	167	1.30	147	1.15	1	0.01
東京都	-	-	16	0.12	61	0.46	235	1.75	118	0.88	200	1.49	77	0.57	75	0.56	-	-
神奈川県	26	0.08	113	0.55	151	0.73	424	2.06	355	1.72	321	1.56	168	0.82	227	1.10	1	0.00
新潟県	6	0.06	33	0.55	80	1.33	145	2.42	105	1.75	88	1.47	9	0.15	49	0.82	-	-
富山県	-	-	1	0.03	54	1.86	66	2.28	40	1.38	14	0.48	32	1.10	29	1.00	-	-
石川県	-	-	8	0.28	12	0.41	159	5.48	51	1.76	39	1.34	42	1.45	31	1.07	-	-
福井県	-	-	6	0.27	19	0.86	103	4.68	68	3.09	207	9.41	37	1.68	22	1.00	-	-
山梨県	4	0.10	7	0.28	22	0.88	39	1.56	35	1.40	203	8.12	29	1.16	8	0.32	1	0.04
長野県	-	-	22	0.41	95	1.76	139	2.57	172	3.19	136	2.52	54	1.00	49	0.91	1	0.02
岐阜県	23	0.31	30	0.64	23	0.49	47	1.00	83	1.77	185	3.94	49	1.04	25	0.53	1	0.02
静岡県	8	0.06	51	0.59	82	0.95	224	2.60	142	1.65	255	2.97	79	0.92	89	1.03	2	0.02
愛知県	1	0.01	113	0.62	146	0.80	355	1.95	291	1.60	352	1.93	217	1.19	174	0.96	1	0.01
三重県	-	-	11	0.24	26	0.58	163	3.62	92	2.04	260	5.78	60	1.33	52	1.16	1	0.02
滋賀県	-	-	75	2.34	15	0.47	55	1.72	46	1.44	16	0.50	17	0.53	11	0.34	-	-
京都府	7	0.06	16	0.21	43	0.57	238	3.13	96	1.26	65	0.86	32	0.42	55	0.72	1	0.01
大阪府	6	0.02	34	0.18	96	0.49	433	2.23	279	1.44	69	0.36	96	0.49	144	0.74	8	0.04
兵庫県	1	0.01	21	0.17	90	0.71	391	3.10	248	1.97	404	3.21	54	0.43	149	1.18	3	0.02
奈良県	-	-	2	0.06	18	0.51	87	2.49	47	1.34	16	0.46	51	1.46	34	0.97	-	-
和歌山県	-	-	7	0.23	14	0.45	69	2.23	39	1.26	6	0.19	3	0.10	27	0.87	2	0.06
鳥取県	1	0.03	13	0.68	43	2.26	98	5.16	24	1.26	7	0.37	6	0.32	24	1.26	-	-
島根県	-	-	12	0.52	11	0.48	62	2.70	18	0.78	22	0.96	4	0.17	23	1.00	-	-
岡山県	3	0.04	12	0.22	31	0.57	130	2.41	47	0.87	41	0.76	14	0.26	30	0.56	-	-
広島県	-	-	19	0.29	73	1.11	194	2.94	112	1.70	133	2.02	70	1.06	68	1.03	2	0.03
山口県	-	-	23	0.47	49	1.00	126	2.57	69	1.41	581	11.86	40	0.82	59	1.20	-	-
徳島県	-	-	1	0.04	14	0.61	30	1.30	45	1.96	40	1.74	5	0.22	21	0.91	2	0.09
香川県	-	-	9	0.28	10	0.31	91	2.84	40	1.25	58	1.81	22	0.69	34	1.06	3	0.09
愛媛県	-	-	11	0.28	30	0.77	120	3.08	64	1.64	68	1.74	41	1.05	38	0.97	1	0.03
高知県	-	-	6	0.19	20	0.65	52	1.68	81	2.61	60	1.94	17	0.55	26	0.84	-	-
福岡県	100	0.55	28	0.27	106	1.01	368	3.50	184	1.75	1361	12.96	99	0.94	116	1.10	2	0.02
佐賀県	-	-	12	0.52	14	0.61	32	1.39	51	2.22	429	18.65	15	0.65	25	1.09	-	-
長崎県	-	-	10	0.21	19	0.40	74	1.54	56	1.17	180	3.75	33	0.69	33	0.69	-	-
熊本県	-	-	16	0.33	43	0.88	100	2.04	59	1.20	525	10.71	27	0.55	72	1.47	1	0.02
大分県	-	-	22	0.61	22	0.61	145	4.03	99	2.75	775	21.53	18	0.50	49	1.36	-	-
宮崎県	-	-	1	0.03	56	1.51	166	4.49	61	1.65	432	11.68	28	0.76	70	1.89	2	0.05
鹿児島県	8	0.08	22	0.37	28	0.47	220	3.67	82	1.37	612	10.20	28	0.47	51	0.85	1	0.02
沖縄県	16	0.28	5	0.15	5	0.15	10	0.29	22	0.65	18	0.53	1	0.03	18	0.53	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年27週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	71	0.02	18090	6.02	913	0.30	6481	2.16	39	0.06	1047	1.66	4	0.01	5	0.01	38	0.08
北海道	10	0.07	110	0.76	95	0.66	287	1.98	-	-	48	1.66	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	30	0.71	6	0.14	67	1.60	-	-	42	3.82	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	76	2.05	2	0.05	33	0.89	1	0.08	9	0.75	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	291	4.93	11	0.19	75	1.27	-	-	5	0.45	-	-	-	-	-	-
秋田県	1	0.03	33	0.94	5	0.14	25	0.71	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	61	2.03	1	0.03	69	2.30	-	-	7	0.88	-	-	-	-	1	0.10
福島県	-	-	425	8.85	26	0.54	65	1.35	3	0.25	28	2.33	-	-	-	-	1	0.14
茨城県	1	0.01	289	3.96	30	0.41	251	3.44	2	0.13	68	4.25	-	-	-	-	-	-
栃木県	4	0.09	316	6.87	4	0.09	69	1.50	1	0.08	31	2.58	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	506	8.16	4	0.06	64	1.03	1	0.07	50	3.57	-	-	-	-	-	-
埼玉県	3	0.02	1611	10.07	22	0.14	468	2.92	-	-	55	1.53	-	-	-	-	1	0.11
千葉県	1	0.01	767	5.99	39	0.30	338	2.64	-	-	69	2.09	-	-	-	-	-	-
東京都	2	0.01	1024	7.64	17	0.13	166	1.24	-	-	27	1.93	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	6	0.03	2121	10.30	42	0.20	510	2.48	4	0.10	79	1.88	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	607	10.12	-	-	206	3.43	-	-	8	0.89	-	-	-	-	3	0.23
富山県	-	-	53	1.83	1	0.03	66	2.28	-	-	3	0.43	-	-	1	0.20	-	-
石川県	-	-	53	1.83	5	0.17	180	6.21	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	54	2.45	2	0.09	106	4.82	-	-	18	6.00	-	-	-	-	-	-
山梨県	1	0.04	48	1.92	3	0.12	33	1.32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	227	4.20	3	0.06	198	3.67	2	0.20	15	1.50	-	-	1	0.08	1	0.08
岐阜県	1	0.02	226	4.81	8	0.17	117	2.49	-	-	8	0.73	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.02	786	9.14	30	0.35	211	2.45	-	-	20	1.00	-	-	-	-	-	-
愛知県	2	0.01	982	5.40	69	0.38	423	2.32	2	0.06	55	1.57	-	-	-	-	1	0.08
三重県	2	0.04	318	7.07	2	0.04	106	2.36	1	0.08	11	0.92	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	-	-	226	7.06	5	0.16	47	1.47	-	-	3	0.43	-	-	-	-	1	0.14
京都府	5	0.07	619	8.14	15	0.20	134	1.76	-	-	24	1.33	-	-	-	-	2	0.33
大阪府	9	0.05	1373	7.08	42	0.22	352	1.81	10	0.19	13	0.25	1	0.08	1	0.08	3	0.25
兵庫県	3	0.02	996	7.90	18	0.14	127	1.01	-	-	42	1.24	1	0.07	1	0.07	-	-
奈良県	-	-	244	6.97	11	0.31	76	2.17	-	-	15	1.67	1	0.17	-	-	1	0.17
和歌山県	2	0.06	218	7.03	18	0.58	78	2.52	-	-	7	1.75	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	122	6.42	-	-	5	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	136	5.91	7	0.30	23	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	249	4.61	10	0.19	70	1.30	-	-	17	1.42	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.02	846	12.82	25	0.38	97	1.47	1	0.06	34	2.00	-	-	-	-	4	0.20
山口県	-	-	108	2.20	21	0.43	89	1.82	2	0.22	7	0.78	1	0.11	-	-	-	-
徳島県	3	0.13	289	12.57	2	0.09	31	1.35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	247	7.72	14	0.44	97	3.03	-	-	8	2.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	427	10.95	3	0.08	103	2.64	-	-	16	2.29	-	-	-	-	-	-
高知県	1	0.03	181	5.84	-	-	8	0.26	-	-	6	2.00	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	292	2.78	110	1.05	437	4.16	-	-	80	3.33	-	-	-	-	1	0.07
佐賀県	-	-	73	3.17	18	0.78	98	4.26	-	-	6	1.50	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	-	-	43	0.90	15	0.31	46	0.96	8	0.80	39	3.90	-	-	-	-	2	0.14
熊本県	2	0.04	135	2.76	24	0.49	85	1.73	-	-	22	2.44	-	-	-	-	7	0.47
大分県	4	0.11	119	3.31	23	0.64	91	2.53	-	-	-	-	-	-	1	0.10	1	0.10
宮崎県	1	0.03	90	2.43	29	0.78	73	1.97	1	0.25	15	3.75	-	-	-	-	3	0.43
鹿児島県	-	-	38	0.63	14	0.23	85	1.42	-	-	17	2.83	-	-	-	-	1	0.08
沖縄県	4	0.12	5	0.15	62	1.82	96	2.82	-	-	16	1.60	-	-	-	-	1	0.14

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成13年27週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	73	0.16	5	0.01	33	0.07
北海道	3	0.13	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	4	0.20	-	-	-	-
宮城県	9	0.75	1	0.08	-	-
秋田県	1	0.13	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	4	0.57	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	1	0.11	-	-
千葉県	2	0.15	-	-	3	0.23
東京都	-	-	-	-	9	0.39
神奈川県	-	-	-	-	4	0.36
新潟県	5	0.38	-	-	2	0.15
富山県	1	0.20	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	1	0.17	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-
長野県	1	0.08	-	-	-	-
岐阜県	2	0.50	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	1	0.13
愛知県	4	0.31	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	3	0.43	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	6	0.50	1	0.08	-	-
兵庫県	-	-	-	-	1	0.07
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	3	0.27	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	3	0.38	-	-	-	-
岡山県	-	-	2	0.40	2	0.40
広島県	3	0.15	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	1	0.20	-	-	-	-
愛媛県	3	0.50	-	-	-	-
高知県	1	0.13	-	-	-	-
福岡県	4	0.27	-	-	2	0.13
佐賀県	3	0.50	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	3	0.20
大分県	2	0.20	-	-	-	-
宮崎県	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	1	0.14	-	-	5	0.71

感染症週報 第3巻、第27号 平成13年7月23日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。